

## 県立名護高等学校「フロンティア科」の取り組み

### ～大学受験（全国大会）を見据えて～

フロンティア科主任

平成27年度から新学科「フロンティア科（以下、F科）」がスタートしました。F科が開設された背景には北部地区の学力向上（国公立大学進学）が挙げられています。生徒の「学力向上」とその先にある「進路実現」に向けてF科では以下のことに取り組んでいます。

#### ①家庭学習の定着に向けて

国公立大学への進学を目指すなら1年生からの家庭学習が大前提になります。大学は学問をする所であり、基礎学力のある生徒を求めています。毎日の地道な積み重ねが大事で、配布したスケジュール手帳を使って時間を有効に使うよう指示しています。「部活で忙しい」という言い訳より「勉強のために部活を、部活のために勉強を頑張る」という前向きな気持ちで高校生活を送ってほしいです。

#### ②早朝講座から7校時までについて

教科書や授業のレベル（質）と、宿題やテストの回数（量）が中学生の頃と比べて全然違うと感じたのではないのでしょうか。これは3年後の全国大会（受験）に向けた土台作りのためです。最初の頃はとてもきつそうな様子ではありましたが、徐々に慣れてきたのではと感じています。

#### ③模擬試験について

「結果（＝自分の位置を知る）」も重要ですが、「復習（反省）」が一番大事であり、最良の問題集として、復習ノートにまとめるように指導しています。模試ほどあらゆる試験を分析しているテキストはありません。模試は部活動で例えると「練習試合」のようなもの。失敗していいものであり、その失敗から学ぶものでもあります。

#### ④進路学習会について

大学受験の内容や授業料、早期の進路先決定を念頭に、生徒向け保護者向けの進路学習会を年3回程度開催しています。琉大をはじめ県外のオープンキャンパスにも1年の夏休みで行くようにと勧めています。学校と家庭の連携がより密になればと考えています。

F科では、2年生で「海外研修（カナダ）」や「探究活動発表会」、3年生では「宿泊学習会」等を企画しています。学校は塾ではありません。座学以外にも部活動や学校行事、海外研修等を通して、人としての礎を作り、大きく成長して欲しいと願っています。将来、地元をはじめ県内外や海外で活躍している姿を思い描きながら、日々指導しています。